

フラクショナル炭酸ガスレーザー治療

フラクショナル炭酸ガスレーザー治療は、レーザー光線で皮膚組織に浅い焼灼することにより病変を取り除く治療法です。治療前に局所麻酔を注射するため照射による痛みはほとんど感じません。焼灼した部位は、皮膚が薄くなる為、火傷後の様に透明の薄黄色い浸出液が数日間出ますが、上皮化が進むにつれ減っていきます。また、焼灼部位が赤く変化しますが、経過とともに薄くなっていきます。この期間は照射の強さによりますが、反応に個人差があり長い場合数カ月から1年くらい持続することがあります。また、照射の生体反応として黒く色素沈着を起こすことがあります。この反応も照射の強さによりますが、個人差があります。しかし、擦ったり光刺激を与えなければ自然消失します。ですから、照射後は、治療部位を清潔し保ち、光および機械刺激を避けることが重要です。また、削ったあとの陥凹が目立たなくするためには、きれいに上皮化するよう、ディオアクティブという医療用ハイドロドレッシング剤のテープを10日以上張っておくことが重要です。レーザー治療ですべてのシミ、ホクロ、脂漏性角化症のすべてがきれいになくなるわけではありません。いったん病変が消えて1, 2か月たった頃、元あった病変の周辺部などに再発するケースがあります。この場合、ハイドロキノンを含む美白クリームを塗布したり、イオン導入、ピーリング等さまざまな方法でできるだけ目立ちにくくすることは可能です。

～治療の流れ～

【照射の準備】

照射時には輪ゴムではじかれたような痛みがあります。

【照射後の経過】

- 照射後、少しほてったような感じがします。
- 一時的に治療部位とその周辺が腫れることがあります。
- 照射部位が赤く変化します。

【照射後の処置】

- テープを貼っていれば、髪、洗顔は可能です。
- 照射後10日以上、医療用の保護テープ(目立ちにくい肌色のテープ)を貼ります。
- 色素沈着の予防の為に美白剤を使用し、日焼けは絶対に避けてください。

【照射後の通院】

- 照射1週間後に受診してください。その後、1か月に1度の通院をお勧めします。
- 照射後、シミが取れて1か月程度で、ピンク色の部分が赤黒くなることがあります。これを炎症性色素沈着といいます。ほとんどの場合が数カ月で改善しますが、できるだけ早く改善するためお薬やイオン導入をお勧めします。

広範囲のレーザー治療をおこなう場合は、適切なレーザー設定を決める為にテスト照射をお勧めしています。小さなシミのテスト照射は行っておりません。
シミに対するレーザー治療には保険は効きません。

ご質問、ご不明な点などございましたらご遠慮なくお問い合わせください。

私は以上の内容に対して説明を受け、理解しましたので
炭酸ガスレーザー治療を受けることに同意します。

年 月 日

患者氏名

親族/代理者



広島ステーションクリニック
美容皮膚科

TEL:082-568-1080/FAX:082-568-1006